指導事例シート⑤ 　　　　　　受講者番号（　　　　　　　）　（氏　名：　　　　　　　　　　）

**【主な指導経過記録】**

**指導経過上の主な場面と内容、バイザーの視点・意図、バイジーの反応**

※中欄の指導内容には、提出類型を意識してバイザーとバイジーのやりとりが分かるように記入してください。（「**相談まで、指導・助言の場面**」と「**指導・助言後、バイジーの報告の場面**」に分けて記入ください。）

※右欄のバイザーの視点・意図（バイジーの反応）には、指導後にバイジーがどのように変化したのかも記入してください。

**※このシートを活用して、ロールプレイを行います（おおよそ10分程度の予定です）、時間内（３ペー**

**ジ程度）に収まるようにまとめてください。**

**１.相談までの経緯、指導・助言の場面**

| **年** | **月** | **日** | **【場面】**  **相談に至る経過** | **指導内容**  **(バイザーとバイジーのやりとりの記録）** | **バイザーの**  **視点・意図**  **（バイジーの反応）** |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  | 【　　　　】 |  |  |
| バイジーはこの時点では、利用者（家族など）をどのように見たてていたと思うか。支援の中でなにか課題と感じていたと思うか。 | | | | | |

**２.指導・助言後、バイジーの報告の場面**

| **年** | **月** | **日** | **【場面】**  **指導・助言後の経過** | **指導内容**  **(バイザーとバイジーのやりとりの記録）** | **バイザーの**  **視点・意図**  **（バイジーの反応）** |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  | 【　　　　】 |  |  |

※2回目以降の指導・助言については、**２.指導・助言後、バイジーの報告の場面**のシートに

引き続き記入してください。

指導事例シート⑤ 　　　　　　　受講者番号（　　　　　　　）　（氏　名：　　　　　　　　　）

**例**

**【主な指導経過記録】**

**指導経過上の主な場面と内容、バイザーの視点・意図、バイジーの反応**

※中欄の指導内容には、提出類型を意識してバイザーとバイジーのやりとりが分かるように記入してください。（「**相談まで、指導・助言の場面**」と「**指導・助言後、バイジーの報告の場面**」に分けて記入ください。）

※右欄のバイザーの視点・意図（バイジーの反応）には、指導後にバイジーがどのように変化したのかも記入してください。

**※このシートを活用して、ロールプレイを行います（おおよそ10分程度の予定です）、時間内（３ペー**

**ジ程度）に収まるようにまとめてください。**

**１.****相談まで、指導・助言の場面**

| **年** | **月** | **日** | **【場面】**  **相談に至る経過** | **指導内容**  **(バイザーとバイジーのやりとりの記録）** | **・バイザーの**  **視点・意図**  **・バイジーの反応** |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 17 | ３ | １０ | 【認知症の疾患を持つ担当につき、専門医への診断の必要性の相談場面】  （最近、近所から帰れなくなることが２度ほど続き、民生委員からも心配の連絡が入り、担当として悩んでいた。）  ３日後に控えた内科のかかりつけ医への受診を前に。 | バイジー：主任、今少々よろしいでしょうか？  バイザー：お疲れ様です。どうかされましたか？  バイジー：〇〇さん、明日受診ですが、やはり認知症については専門医への診断が必要ではないかと思ってまして…ただご本人やかかりつけ医にどのように話を持っていったらいいかな？と。  バイザー：どのように話をしていったらいいのか、で迷われているんですね。専門医への受診が必要だと思うのは、何か理由がありますか？  バイジー：はい、現在も認知症との診断はあるんですが、ふらつきや幻覚症状の訴えも家族から聞きますし、認知症の種類で処方が変わる事も研修で聞きまして。  バイザー：それでより専門的に調べる必要性があるのではないかと思ったわけですね。いいじゃないですか。具体的にどんな行為があります？  バイジー：え～、ふらつきや幻覚症状．．．  バイザー：もう少し具体的に欲しいですよね。それではかかりつけの先生も判断に困るかな。頻度や時間も。またそれに対してご本人はどう思っているんでしょうね？家族さんはどうです？  バイジー：再度本人家族に確認しておきます。 | 受容の姿勢を示すため、仕事の手を止め笑顔で向き合った。  リフレインでバイジーの不安や迷いを受容した後、専門医受診の理由や根拠を確認した。  至った考えへの承認  (少し硬い表情が和らぐが、具体性や本人の意向確認ができていないことに気づきハッとした表情に) |
| バイジーはこの時点では、利用者（家族など）をどのように見たてていたと思うか。支援の中でなにか課題と感じていたと思うか。  認知症の症状が出てきて、帰れないこともあったが本人があまり大変さを感じていない。 | | | | | |

**２.指導・助言後、バイジーの報告の場面**

| **年** | **月** | **日** | **【場面】**  **指導・助言後の経過** | | **指導内容**  **(バイザーとバイジーのやりとりの記録）** | **バイザーの**  **視点・意図**  **（バイジーの反応）** |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 17  17 | ３  ３ | １２  １３ | 自宅訪問での本人家族の確認を経て。  かかりつけ医の受診を経て。 | バイザー：どうでした？何か聴けました？  バイジー：はい、結構他にも色々なことがあり、家族の思いも聴けました。ただ本人は「もうボケてるでな～」と今一ピンときていない様子で、それが家族には余計に腹立たしいようです。  バイザー：それは確認しておいてよかったですね。明日の診察時に生かせそうですか？  バイジー：はい！でもすべてちゃんと言えるかな～？  バイザー：そこは先生も忙しい身で正確に判断してもらう必要があるので、たとえば端的に行為と時間、頻度を紙に書いてまとめておくなどされるといいかもしれませんね。  バイジー：なるほど。そうしてみます。専門医受診についてはどういった持っていき方がいいでしょう？  バイザー：本人のそれだけの行為と頻度を示しておいても、何らかの指示もしてくれなさそうなかかりつけ先生ですか？  バイジー：いえ、糖尿関係ではとても親身に相談に乗ってくれるので…そうですね、事実を伝えて先生に判断を仰ぐようにします。小さい時からずっとかかっている先生で本人は信用しているんですよ。  バイザー：診察時相談は上手くいきましたか？  バイジー：よかったです。先生も薄々気づいていたようでしたが、それほどの行為が頻繁に出ているとは思っていなかったようで、すぐに専門医への紹介状を書いてもらえました。  バイザー：それはよかったですね。次はどうしていこうと思われています？  バイジー：本人への受診説得や日取りなど、ご家族と相談しながら進めていきたいと思います。  バイザー：また経過については教えてくださいね。ひとまず今日はお疲れ様でした。  バイジー：ありがとうございました。また相談に乗ってください。 | | こちらから聞く。  (話したそうな様子だった)  行為の承認  ここは経験者としての工夫案を示した  (あくまで専門医受診にこだわるバイジー)  自分の意見はあったが、あくまでバイジーに気づいてもらえるような問いかけにした。  （本人と先生との関係に気づく）  こちらからの問いかけ。  (バイジー少々興奮とホッとした様子)  次の展開方針の確認  (展開がみえて自信ある口調へ)  引き続きの支援の表明 |

※2回目以降の指導・助言については、**２.指導・助言後、バイジーの報告の場面**のシートに

引き続き記入してください。